

これが**新**海女センター

1階



■資料展示コーナー

海女が漁に使う「ヤツカリ」や「タビ」などの道具を展示。北限の海女を一躍有名にした脚本家、水木洋子氏なども紹介。



■売店コーナー

久慈市の土産品をはじめ、Tシャツなど海女グッズや、お菓子類を販売。このほか1階には多機能トイレも完備。

2階



■バルコニー

美しい海岸はもちろん、海女の実演場所も一望できる。このほか2階には休憩スペースも。



DATA

住所 久慈市宇部町24-110-2
 連絡先 ☎54-2261
 事業費 2,600万円
 構造 木造2階建て
 面積 敷地303.26㎡ 建築64.64㎡
 延床 92.03㎡



海女のとりたてウニの振る舞いで、われ先に手を伸ばす見学者



海女+マリン(海)で「アマリン」の名前を考えました。海女も小袖もどんでん全国に広がってほしいです!

アマリンの発案者
小袖佳奈子さん
 (久慈東高1年)



海女キャラクター
アマリン

海女の里にぎわう
 6500人の来場者で大盛況! 北限の海女フェスティバル(同実行委主催)は8月1日、小袖漁港周辺で開かれました。県内外からも観光客などが押し寄せ、来場者数は昨年度に比べて1.5倍。全国から注目を集め続ける海女の里が、大いににぎわいました。ウニやホヤなど、新鮮な海産物は販売前から長い列。最大の見せ場となる海女の素潜り実演には、見学者が殺到し

ました。今回から始めたシャトル漁船も大人気で、会場は最後まで人であふれました。

魅力アップに期待
 同日は、フェスティバルの開催に先立って、施設の老朽化から改築された海女センターのリニューアルオープンセレモニーが開かれました。山内隆文市長は「北限の海女の魅力を、国内外に発信できるよう行政も支えていきます」と力を込めてあいさつ。続いて、小袖北限の海女の会の村塚繁好会長など4人がテープカットを行い、生まれ変わった海女センターがお披露目されました。

またフェスティバルのオープニングでは、公募していた海女キャラクターの名称も発表。キャラクター名「アマリン」の考案者の中から抽選で選ばれた小袖佳奈子さん(久慈東高1年)には、村塚会長から海女グッズやウニなどが贈られました。

新海女センターとキャラクターの誕生で、海女の里のさらなる魅力アップが期待されます。

大盛況!

北限の海女フェスティバル



①潮の香りが広がる生ウニ丼は大好評
 ②ホタテ焼き。出店では海産物を販売
 ③かすり姿で演歌「北限の海女」を披露した歌手の金澤未咲さん
 ④ウニ狙いで白熱したウニ採り名人戦
 ⑤小袖小学校児童は小袖漁撈唄を披露



漁船気持ち良い!

シャトル漁船は水しぶきがあたって気持ち良い!海女の実演も見られて楽しめました!欲を言えば、海女センターでもっとたくさんの資料が見たかったですね。

■新井田から家族4人で来場・左から/桑田英樹さん、悠太郎くん(久慈湊小3年)、ありさちゃん(5歳)、琴江さん

INTERVIEW

ウニ濃厚で美味!

毎回、欠かさず食べる焼きウニは、今回も濃厚で美味!海女センターもきれいになって良いですね。シャトル漁船も楽しかったので、今回は本数を増やしてほしいです。

■門前から家族3人で来場・左から/向川知子さん、愛莉ちゃん(4歳)、公司さん

